



発行所：日本合板商業組合

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-5-4

TEL：03-5256-9080

https://www.nichigoshonet.jp

e-mail：jpwa@oboe.ocn.ne.jp

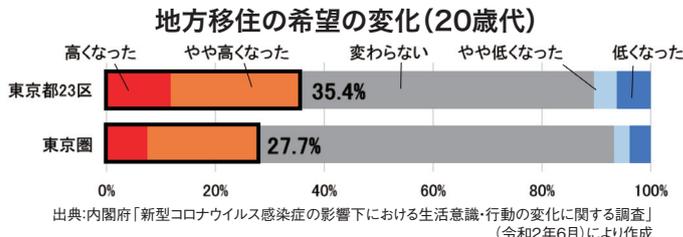
Japan Plywood Wholesalers Association

TOPIC | 1 | 100のスマートシティ形成で東京一極集中是正へ

東京一極集中の是正を図るといった新しい地域づくりの方向性などを盛り込んだ「選択する未来2.0」の中間報告が公表された。

新型コロナウイルスの感染拡大により、経済社会や国民の意識には様々な変化が起こった。テレワークやオンライン会議の活用が広がる一方で、労働時間重視の働き方と家族の向き合う時間の少なさ、首都圏を中心とした過密な職住環境のリスクなどの課題も浮き彫りとなった。

「選択する未来2.0」では、その変革の方向性の一つとして地方に人口が集まる核がいくつも存在し、それぞれがつながり合う多核連携の社会を目指すべきと指摘した。具体的には、政令指定都市や中核市を中心に全国で100のスマートシティを形成し、多核連携の核としていくことを目指す。併せて、小規模でも住民の福祉を維持できる地方都市を実現していくことも重要と指摘した。例えば、地方自治体はリモートワークのための環境整備を進めるとともに、空き家や公営住宅の活用など首都圏人材の受け入



若い世代の地域への関心は高まっている。その流れを拡大し、スマートシティの形成を加速していくことが求められる。

れ環境の整備を進め、二者択一ではない大都市圏と地方圏の関係を構築していくべきとしている。

この「選択する未来2.0」の理念も踏まえつつ、2020年の「経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)」の原案も作成された。「ウィズコロナ」の経済戦略を示すとともに、新たな日常の早期実現に向け、「デジタル化への集中投資」、「多核連携型の国づくりと地域の活性化」、「生産性向上の鍵となる人材投資・イノベーション」、「包摂的な社会の実現」、「新たな世界秩序の下での活力ある日本経済の実現」という5つの柱が示された。

TOPIC | 2 | 全館空調の提案 住宅メーカーで活発

導入が進んだ在宅ワークの本格普及を見据え、“空気”の質という視点で全館空調の提案を前面に押し出す住宅メーカーが相次いでいる。

パナソニック ホームズは、HEPA フィルター搭載の全館空調システムに、賃貸併用住宅の自宅部分でも対応ができる「エアロハスM」を追加した。「HEPA フィルターを搭載した全館空調システムは業界初」という点を強調し、賃貸併用住宅を売り込む。

「エアロハスM」は、外気中の花粉やPM2.5などの汚れを約95%集塵する「給気清浄フィルターユニット」と「熱交換気ユニット」を組み合わせ、天井裏に設置。外気導入を経た室内搬送空気は、専用エアコン(1台)を組み込んだ

「空調ユニット」を通り、各部屋に供給される仕組みだ。

三菱地所ホームは全館空調システム「エアロテック」で、通常は、オプション対応する空気清浄システム「UVクリーンユニット」を6月末まで無料搭載するキャンペーンを展開した。積水化学工業住宅カンパニーは、“新しい生活様式”への対応力を高めた住宅「レジリエンス100 STAY&WORK モデル」で同社オリジナルの換気・全室空調システム「快適エアリー」を標準搭載する。

パナソニックの「在宅勤務で気になった住境の課題に関する調査」によると、約4割が「空気環境によって業務に集中できなかった」と回答、今後他メーカーの追従もありそうだ。

住生活産業の総合情報誌 [ハウジング・トリビューン] Housing Tribune

「ハウジング・トリビューン」は他紙誌にはない個性を持った月2回刊の住生活産業の総合情報誌です